

# 令和2年度事業報告書



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

## 目 次

総括	3
社会福祉協議会運営基盤の強化	4
在宅福祉推進事業	9
高齢者福祉事業	12
障害者福祉事業	22
児童福祉事業	29
地域福祉推進事業	31
ボランティア振興事業	35
厚生福祉事業	38
福祉関係組織活動支援	40
災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告	41

## 令和2年度事業報告

### I 総括

令和2年度は、世界的に感染が拡大した新型コロナウイルスの影響により、多くの人命が失われ、日本経済の停滞や伝統的な文化行事の中止など、これまでにない大きな衝撃を受けました。

本町でも失業や収入が減ったことで生活費の貸付（緊急小口資金、総合支援資金）を申請される方が増え、これまでの複合的な課題を抱える世帯を含め、多くの方々が生活への不安を感じる一年となりました。また、地域の関りについても感染への恐れから、人と人との交流が減り、閉じこもりがちになる方も増加し、感染症がもたらす二次的な課題が危惧されています。

そのような中、京丹波町社会福祉協議会では、目に見えない感染症への対応の難しさから、福祉サービスの利用自粛をお願いした時期や事業の延期、またやむなく中止とした事業もありましたが、感染防止対策を徹底しながら暮らしに直結した福祉サービスを中心に、継続的なサービスの提供を進めてきました。

さらに、今年度は令和元年度末に策定した京丹波町地域福祉活動計画に基づいて具体的に取組みを進める初年度でもありましたが、新型コロナウイルスの影響で思うような活動が取り組めないなか、「思いを語り合う場づくり」「人と人との結び目づくり」「みんなの出番づくり」を柱として、感染予防の工夫をしながら地域で取り組まれた活動に社協も共に関わらせていただきました。竹野地区では地域の交通課題について話し合わせ、2月からコミュニティー・カーシェアリングの試行運転が始まり、質美地区では住民アンケートの結果をもとに配食弁当の取組みがスタートしました。また、本会の事業でもデイサービスではご利用者と一緒に畑作業を行い収穫した野菜を皆さんで食べたり、刺繍した作品を丹波マークスで展示を行いました。共同作業所では、行政からの依頼を受け、町内の保育所・幼稚園に通う園児への手作りマスクを配布し、保護者からお礼のメールをいただくなど、支援を受ける立場の多かった方が、これまで培ってこられた経験や力を発揮され誰かを支える側になれることで、自分の役割や出番を見つけていただくことにつながりました。このような取組みは、今後も本会職員一同が強く意識をもって取り組んでいきたいと考えています。

感染症収束の見通しがつかないなか、感染防止に努めながら「全ての住民の心が輝く福祉のまちづくり」の運営理念そって取り組んだ事業について報告いたします。

## II 社会福祉協議会運営基盤の強化

### 1 活動財源の確保

#### (1) 会員増強運動

社会福祉協議会(以下、社協)は、地域で暮らす住民の皆さんが主体となって運営される民間の団体であり、住民の皆さんに会員となっていただき住民主体の福祉活動を進めていきます。

会費を納めていただくことで、地域福祉の推進に取り組む社協の貴重な財源となり事業の運営やサービスの参加・協力を財政面で支えていただくこととなります。

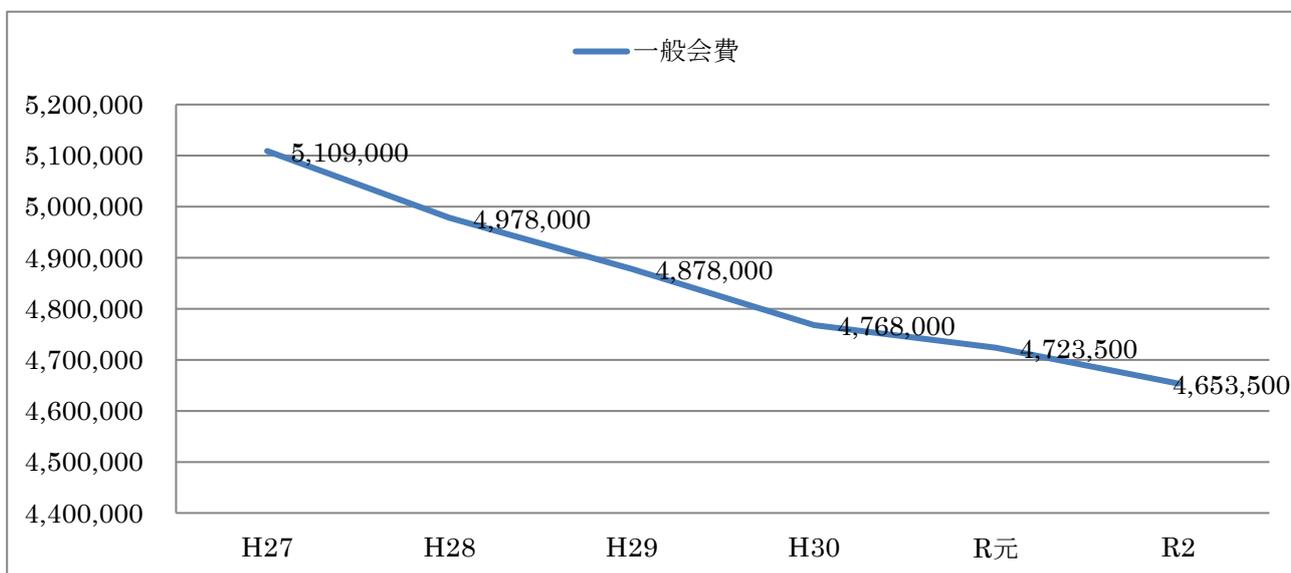
#### ①会費納入状況

会員種別	丹波	瑞穂	和知	町外	合計	備考
一般会員	1,803,000	1,540,000	1,305,500	5,000	4,653,500	成人者：1,000円
特別会員	50,000	180,000	75,000	95,000	400,000	会社・事業所等：5,000円
賛助会員	45,000	0	6,000	0	51,000	福祉施設・団体等：3,000円
合計	1,898,000	1,720,000	1,386,500	100,000	5,104,500	

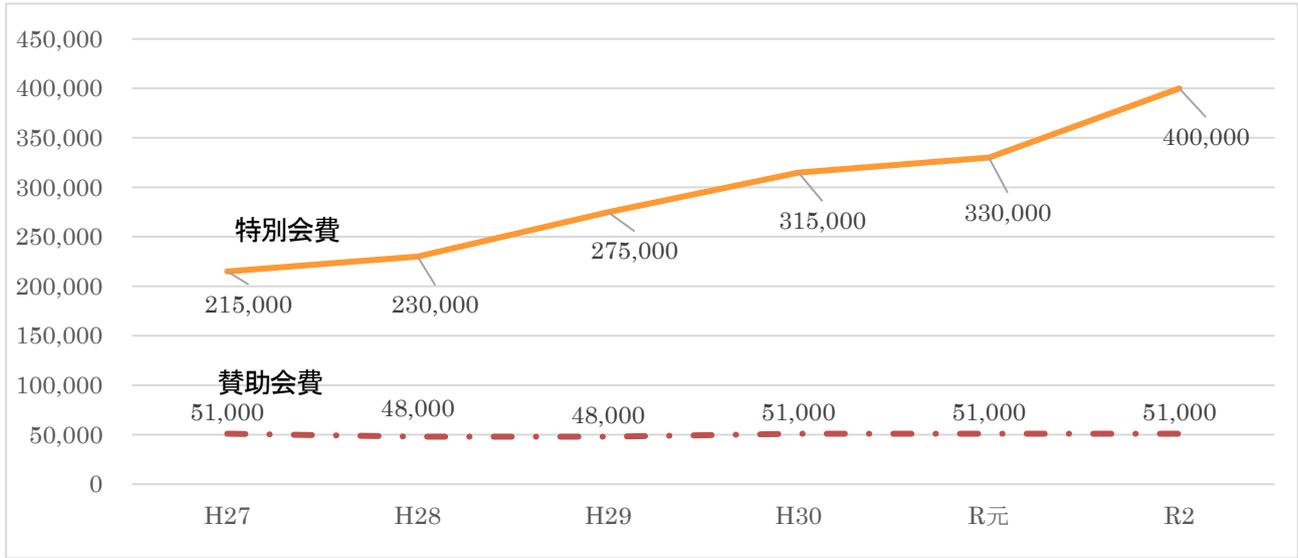
#### 一般会費地区ごとの内訳

		H27	H28	H29	H30	R元	R2
丹波	会費	1,997,000	1,940,000	1,898,000	1,829,000	1,827,000	1,803,000
	成人数	6,352	6,269	6,165	6,057	5,959	5,855
	加入率	31.4%	30.9%	30.8%	30.2%	30.7%	30.8%
瑞穂	会費	1,681,000	1,632,000	1,611,000	1,581,000	1,554,000	1,540,000
	成人数	3,850	3,793	3,702	3,625	3,576	3,532
	加入率	43.7%	43.0%	43.5%	43.6%	43.5%	43.6%
和知	会費	1,431,000	1,406,000	1,369,000	1,355,000	1,337,500	1,305,500
	成人数	2,771	2,705	2,660	2,602	2,545	2,471
	加入率	51.6%	52.0%	51.5%	52.1%	52.5%	52.8%
全域	会費	5,109,000	4,978,000	4,878,000	4,768,000	4,723,500	4,653,500
	成人数	12,973	12,767	12,527	12,284	12,080	11,858
	加入率	39.4%	39.0%	38.9%	38.8%	39.1%	39.2%

※一般会費の推移(単位：円)



※特別・賛助会費の推移（単位：円）



(2) ご寄付を広くお受けできるように

社協は、既存の制度や事業に取り組むだけでなく、制度による福祉サービスでは十分に対応できない問題や制度の狭間にある福祉課題・生活課題に向きあい、地域の皆さんの参加や協力をえながら地域に根ざした取組みを積極的に進めていくことが求められています。その財源として、地域の皆さんからの寄付金を活用させていただいております。

今年度は、地域の皆さんからご寄付として支援をいただきやすくするために、地域の事業所にもご協力いただきながら次の取組みを始めました。

①自動販売機による寄付の取組

飲み物を購入するとその売り上げの一部が自動的に京丹波町社協へ寄付される自動販売機を、ウッディパルわち様（ウッディパルわち管理委員会：京丹波町下栗野）と道の駅丹波マーケス様（丹波地域開発株式会社：京丹波町須知）に設置いただきました。



▲ウッディパルわち（令和2年8月設置）



▲道の駅丹波マーケス（令和2年11月設置）

寄付実績

	ウッディパルわち	道の駅丹波マーケス	計
合計	9,830 円	13,641 円	23,471 円

## ②税額控除制度の活用

税額控除制度は、所得税率の高い高所得者に減税効果が高い「所得控除制度」に比べ、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引くことができるため、個人による小口寄附を促進する効果があります。

京丹波町社協では、所轄庁である京都府に申請し、令和2年10月5日に税額控除対象法人としての証明書を受けました。

今後は「所得控除」か「税制控除」のどちらか有利な方を選択し控除を受けていただくことができます。

### 【成果・課題】

- ・特別会員、賛助会員としてご協力がいただいている町内外の事業所等には、会員証の発行や広報紙への広告掲載も行った。
- ・活動財源の確保として、住民のみなさまからご寄附を広くお受けできるように自動販売機での寄附の取組や税額控除制度の活用ができるよう申請を行った。

## 2 法人運営

### ●会 務

#### (1) 理事・監事会・・・6回【書面決議含む】

R2. 6. 25	新型コロナウイルス感染防止対策、会長職務執行状況報告、評議員会書面決議での意見、評議員候補者の同意、元年度事業報告・収支決算、第1回評議員会開催、規程変更、他
R2. 7. 6	【書面決議】評議員候補者の同意、評議員会提案内容の承認
R2. 8. 6	会長職務執行状況報告、前回書面決議報告、評議員選任・解任委員会報告、寄付つき自動販売機設置報告、規程変更、他
R2. 9. 30	会長職務執行状況報告、一般会員新規加入状況報告、職員への指揮監督、ボランティア基金運用、規程変更、歳末たすけあい募金配分事業、評議員解任、他
R2. 11. 26	会長職務執行状況報告、評議員選任・解任委員会報告【書面決議】、寄付つき自動販売機設置報告、2年度補正予算(案)、2年度上半期事業執行状況・予算執行状況の確認、評議員候補者の同意、第2回評議員会開催、他
R3. 3. 3	会長職務執行状況報告、共同作業所実地指導、軽車両入札報告、2年度第2次補正予算(案)3年度事業計画(案)・予算(案)、規程変更、第3回評議員会開催、通所介護事業所地域密着型へ移行、他

#### (2) 監査会・・・2回

R2. 5. 15	元年度事業及び収支決算について監査
R2. 11. 11	2年度上半期事業執行状況及び予算執行状況について監査

#### (3) 評議員会・・・3回

R2. 7. 15	前回書面決議での意見、移動にともなう理事の承認、元年度事業報告・収支決算
R2. 12. 17	2年度補正予算、2年度上半期事業執行状況・予算執行状況確認
R3. 3. 19	2年度第2次補正予算、3年度事業計画・予算

#### (4) 三役・管理職会議・・・10回

R2. 6. 10	新型コロナウイルス感染防止対策、第1回理事会、障害者一般相談、夏季休暇、働き方改革、各課からの報告、他
R2. 7. 17	新型コロナウイルス感染防止対策、豪雨災害支援、規程変更、第2回理事会、障害者一般相談、寄付つき自動販売機、各課からの報告、他
R2. 8. 20	財政状況確認、予算要望、オンライン会議対応、働き方改革、グループホームについて、寄付つき自動販売機、各課からの報告、他
R2. 9. 17	新型コロナウイルス感染防止対策、緊急包括支援事業助成金、予算要望、第3回理事会、ボランティア基金、規程変更、寄付つき自動販売機、働き方改革、各課からの報告、他
R2. 10. 16	職員インフルエンザ予防接種補助、予算要望、寄付つき自動販売機、各課からの報告、他
R2. 11. 18	上半期事業執行状況・予算執行状況確認、内部登用・新規採用、第4回理事会、社協役職員研修、各課からの報告、他
R3. 1. 14	緊急事態宣言発令への対応、内部登用・新規採用、役職員研修、軽車両入札、各課からの報告、他
R3. 2. 10	緊急事態宣言発令への対応、各部署事業計画、新規採用二次試験、働き方改革、軽車両入札報告、役職員研修、ボランティア基金、各課からの報告、他
R3. 3. 3	来年度体制、職員募集、他
R3. 3. 11	働き方改革、職員募集、辞令交付式、規程変更、各課からの報告、他

(5) 各種運営委員会

委員会名	丹波	瑞穂	和知	合計
心配ごと相談所運営委員会		0		0
福祉資金貸付委員会	0	1	0	1
ボランティアバンク運営委員会		2		2
理事・監事推薦委員会		3		3
評議員選任・解任委員会		2		2

(6) 管理職（課長）会議・・・14回

R2. 4. 17	新型コロナウイルス感染防止対策、今後の予定、各課からの報告、他
R2. 4. 30	新型コロナウイルス感染防止対策、他
R2. 5. 20	監査報告、新型コロナウイルス感染防止対策、今後の予定、職員募集、各課からの報告、他
R2. 6. 16	夏季休暇と年休取得、障害者一般相談、働き方改革、今後の予定、業務目標シート、各課からの報告、他
R2. 7. 10	規程変更、働き方改革、各課からの報告、他
R2. 8. 7	寄付つき自動販売機、オンライン会議対応、各課からの報告、他
R2. 9. 11	新型コロナウイルス感染防止対策、緊急包括支援事業助成金、ボランティア基金、寄付つき自動販売機、買い物支援バス、働き方改革、各課からの報告、他
R2. 10. 7	緊急包括支援事業助成金、小学校休業対応助成金、働き方改革、公用文、職員インフルエンザ予防接種、各課からの報告、他
R2. 11. 13	監査報告、来年度に向けて、予算要望報告、緊急包括支援事業助成金、働き方改革、各課からの報告、他
R2. 12. 10	新型コロナウイルス感染防止対策、来年度に向けて、働き方改革、各課からの報告、他
R2. 12. 24	年末年始確認、慰労金、来年度に向けて、働き方改革、他
R3. 1. 7	内部登用・新規採用、ボランティア基金、働き方改革、軽車両入札、職員面談、各課からの報告、他
R3. 2. 4	緊急事態宣言発令対応、各部署事業計画、来年度に向けて、働き方改革、ボランティア基金、各課からの報告、他
R3. 2. 19	来年度に向けて、働き方改革、緊急事態宣言発令対応、他

(7) 職員内部研修、会議・・・1回

R2. 7. 2	職員全体研修 地域福祉活動計画について ・グループワーク
----------	------------------------------------

## 【在宅福祉推進事業】

### 1 福祉サービス利用援助事業

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う。

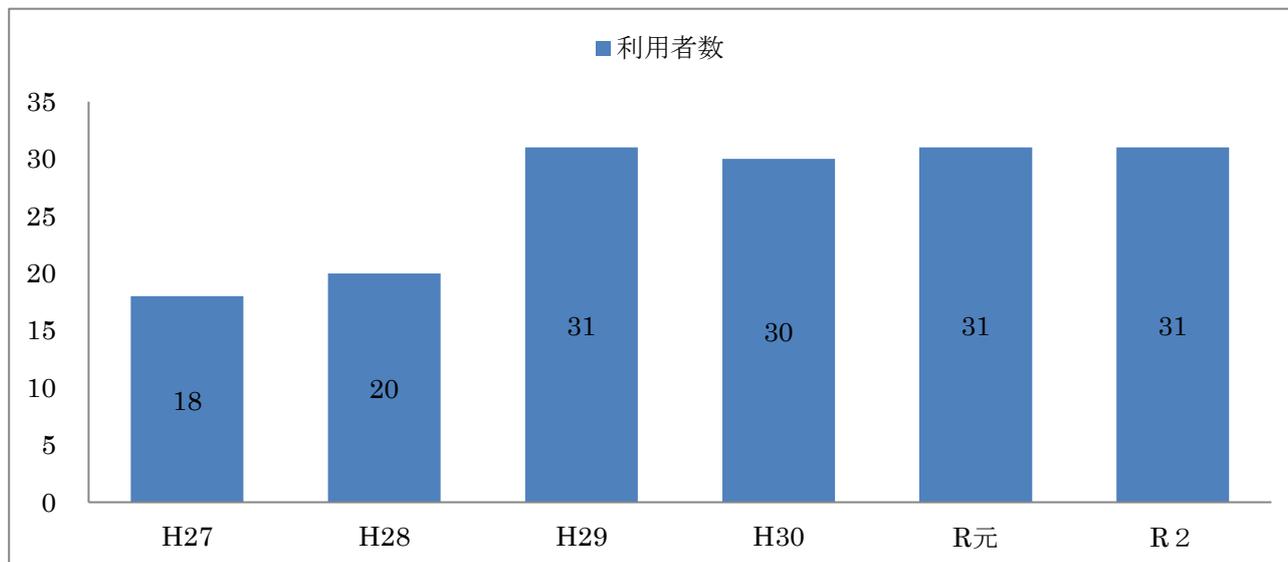
#### ■契約・支援等の件数・・・令和3年3月31日現在

	R元年度支援件数					解約件数	新規件数	保留件数	R2年度支援件数					生活保護受給者数	相談継続件数
	認知症	知的障害	精神障害	その他	計				認知症	知的障害	精神障害	その他	計		
丹波地域	10	1	2	1	14	4	2	3	6	1	4	1	12	6	3
瑞穂地域	7	1	2	1	11	3	4	3	6	1	3	2	12	3	3
和知地域	4	0	1	1	6	0	1	0	4	0	2	1	7	0	0
合計	21	2	5	3	31	7	7	6	16	2	9	4	31	9	6

①令和2年度 新規契約者数 → 7名

②令和2年度 解約者数 → 7名

#### ■利用者数（単位：人）



#### ■支援内容

支援内容	丹波	瑞穂	和知	合計	備考
○福祉サービス利用援助	12	12	7	31	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的金銭管理	12	12	7	31	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・印鑑の預かり	11	12	5	28	通帳・印鑑の管理
○書類等の預かりサービス	3	6	2	11	年金証書、権利証書等の預かり

■専門員・支援員研修の開催

専門員・・・3回

研 修 名	開 催 日	内 容
南丹ブロック現任生活支援員研修交流会検討会議	R2. 10. 28	・開催するかどうか検討（新型コロナウイルス感染防止のため）…中止を決定
令和2年度福祉サービス利用援助事業1回専門員担当職員会議及び南丹・乙訓ブロック事例等検討会	R2. 12. 25	・福祉サービス利用援助を取り巻く情勢について（府予算要望・成年後見利用促進等） ・福祉サービス利用援助事業契約ケースについての事例検討
令和2年度福祉サービス利用援助事業第2回専門員担当職員会議	R3. 3. 29	・令和2年度事業報告及び令和3年度取組み方針の説明等 ・実地調査を終えて、状況等の説明

生活支援員・・・1回

研 修 名	開 催 日	内 容
令和2年度生活支援員現任研修	R3. 4. 7	・利用者の自己決定支援について ・福祉サービス利用援助事業・成年後見制度と意思決定支援

【成果・課題】

利用者の入所（高齢・障害）や死亡などによる解約が多かった。また、契約中の利用者や同居する家族が、認知症を含む体調不良で入院・ショートステイを利用されるなどされることが多くあり、支援に手間と時間を要するケースが多かった。

利用者が滞納や延滞をされていた町税・公共料金について、本事業を通じて分割支払いを行い、それらが解消されたケースが複数あった。本事業による支援の成果であると感じている。

## 2 住民寄り添い型助け合い活動かがやき

世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められている中、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持ちで助け合う活動の推進を行う。

### (1) 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数 (件)	8	14	22	16	16	22	19	26	36	21	20	23	243
新規利用者数 (人)	5	6	10	10	10	12	13	12	9	16	13	17	133
相談件数 (活動外)	0	2	1	0	1	0	0	3	7	0	0	2	16

### (2) 依頼内容

依頼内容	件数	依頼内容	件数
掃除	25	衣替え・衣類整理	6
洗濯（畳む、干す）	3	荷物整理	5
草引き	1	布団干し	1
ガラス戸・窓拭き	10	エアコン掃除	1
家具移動	3	ごみ分別・ゴミ捨て	30
見守り	23	その他	1
買い物同行	1	掃除（総合事業）	133

### (3) 登録活動者数

(令和3年3月31日現在)

73名（男性 17名、女性 56名）

#### 【成果・課題】

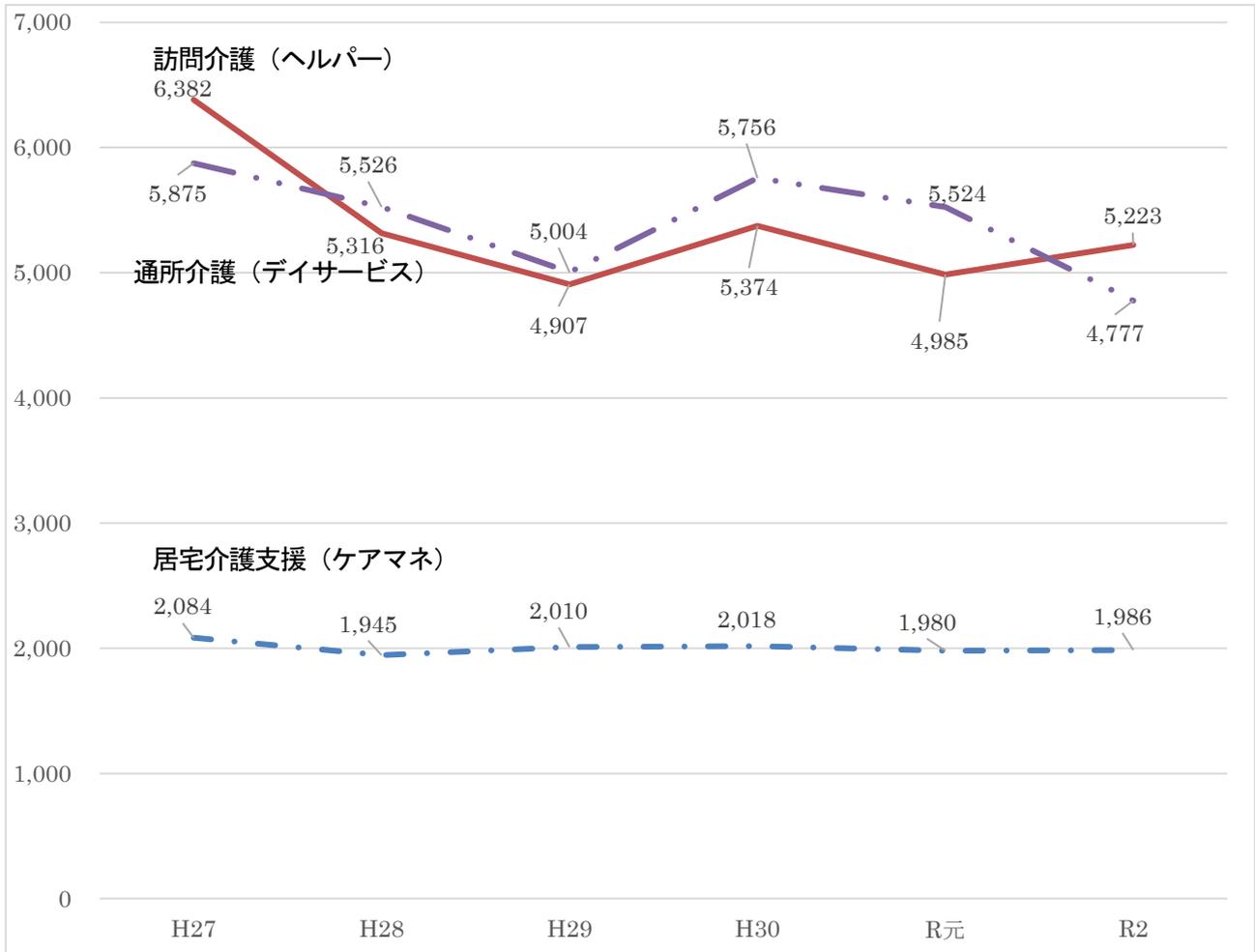
- ・一人では大変な衣類や布団の整理なども活動者と共に行うことによってスムーズにできた。
- ・訪問型サービスA事業の利用者もかがやきを併用することによって、利用者の希望に応じた、柔軟な活動となっている。
- ・訪問型サービスA事業の利用者が増えてきており、調整が難しいこともある。定期的な活動も可能な活動者の協力も必要になってきたため、かがやき講座を実施していく必要を感じる。

## 【高齢者福祉事業】

### 1 介護保険事業

※利用状況推移（要支援1、2、総合事業、要介護1～5の合計）

- ・ケアマネ（延べ利用者数、単位：人）
- ・ヘルパー（延べ提供回数、単位：回）
- ・訪問入浴（延べ提供回数、単位：回）
- ・デイサービス（延べ提供回数、単位：回）



(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

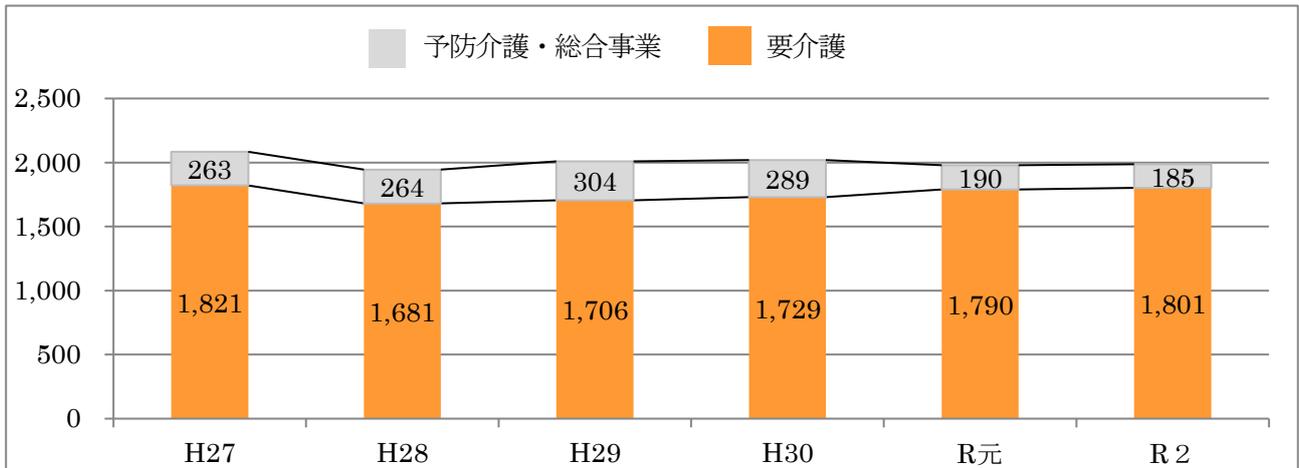
職 種 名	ケアプランセンターほほえみ	備 考
管 理 責 任 者	1 名	
ケアマネジャー	6 名	1 名管理責任者兼務 2 名主任介護支援専門員

○高齢者生活支援事業・総合事業・・・京丹波町委託事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、日常生活上の援助が必要な要支援者

■内 容：ケアマネジメント

※利用状況の推移（延べ利用者数、単位：人）



■予防介護支援事業・総合事業の実績（総合事業・要支援1・2の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	要支援1	要支援2	総合事業	合 計
<b>2年度</b>	<b>24</b>	<b>149</b>	<b>12</b>	<b>185</b>
元年度	13	133	44	190
30年度	46	159	84	289
<b>前年度比較（%）</b>	<b>184.6</b>	<b>112.0</b>	<b>27.2</b>	<b>97.3</b>
30年度比較（%）	52.1	93.7	14.2	64.0

■居宅介護支援事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
<b>2年度</b>	<b>486</b>	<b>743</b>	<b>371</b>	<b>140</b>	<b>61</b>	<b>1,801</b>
元年度	500	755	322	153	60	1,790
30年度	546	658	313	187	25	1,729
<b>前年度比</b>	<b>97.2</b>	<b>98.4</b>	<b>115.2</b>	<b>91.5</b>	<b>101.6</b>	<b>100.6</b>
30年度比較	89.0	112.9	118.5	74.8	244.0	104.1

【成果・課題】

利用者数が前年度と比較してほぼ変わらずの状況にある。

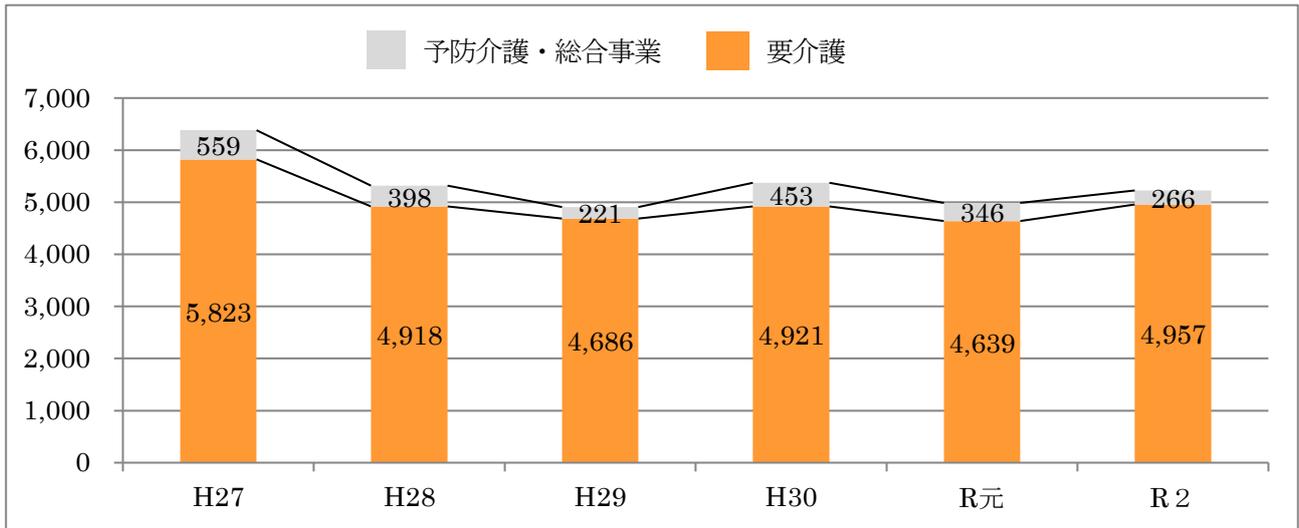
特定事業所加算Ⅰの算定を目指し主任介護支援専門員を2名配置し、包括支援センターからの相談にも順次対応しながら業務が行えた。また複雑多様なニーズや生活に困難を抱えておられるケースも増えており地域福祉課相談支援係とも連携し支援を行っている。

依然として新型コロナウイルスの影響もあって居宅訪問には最善の注意を払っている。今後ワクチン接種も予定されており、支援とし出来る限りの援助を行っているが、対応に苦慮するところがある。

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

職 種 名	ヘルパーセンターほほえみ	備 考
管理責任者	1名	サービス提供責任者が兼務
サービス提供責任者	2名	常勤ヘルパーが兼務
常勤ホームヘルパー	4名	
登録ホームヘルパー	15名	

※利用状況の推移 (述べ提供回数、単位：回)



■ 予防訪問介護事業の実績 (総合事業・要支援1・2の利用状況実績)

延べ利用者数 (人)	要 支 援 1	要 支 援 2	総合事業	合 計
<b>2年度</b>	<b>0</b>	<b>21</b>	<b>35</b>	<b>56</b>
元年度	0	31	55	86
30年度	11	41	74	126
前年度比較 (%)	-	67.7	63.6	65.1
30年度比較 (%)	-	51.2	47.2	44.4
延べ提供回数 (回)	要 支 援 1	要 支 援 2	総合事業	合 計
<b>2年度</b>	<b>0</b>	<b>134</b>	<b>132</b>	<b>266</b>
元年度	0	157	189	346
30年度	23	170	260	453
前年度比較 (%)	-	85.3	69.8	76.8
30年度比較 (%)	-	78.8	50.7	58.7

■ 訪問介護事業の実績 (介護1～5の利用状況実績)

延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
<b>2年度</b>	<b>164</b>	<b>204</b>	<b>107</b>	<b>38</b>	<b>15</b>	<b>528</b>
元年度	127	159	105	43	24	458
30年度	133	164	127	55	24	503
前年度比	129.1	128.3	101.9	88.3	62.5	115.2
30年度比較	123.3	124.3	84.2	69.0	62.5	104.9

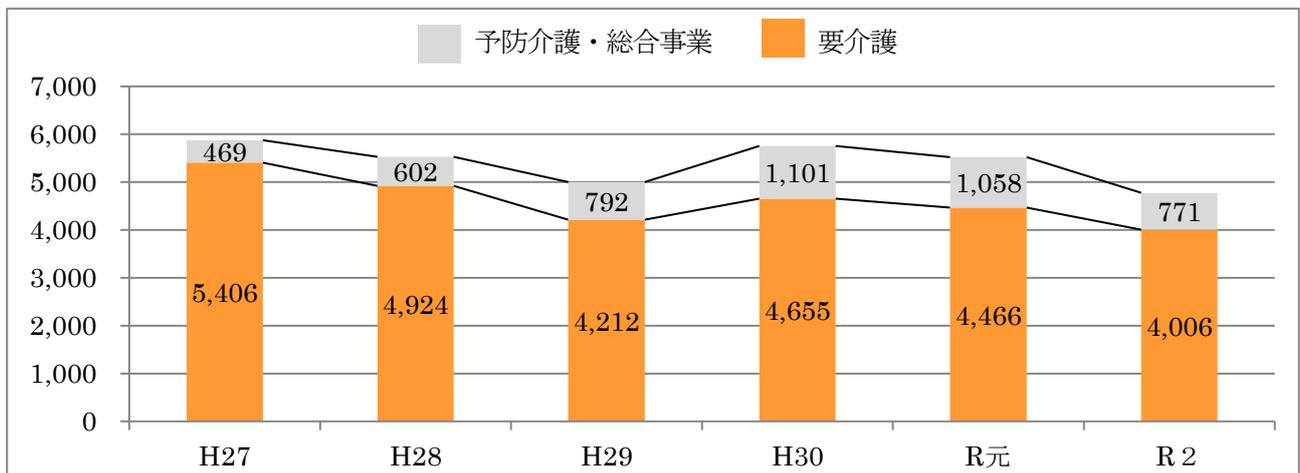
延べ提供回数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
<b>2年度</b>	<b>1,045</b>	<b>1,590</b>	<b>1,624</b>	<b>536</b>	<b>162</b>	<b>4,957</b>
元年度	739	1,514	1,453	690	243	4,639
30年度	848	1,384	1,414	1,012	263	4,921
<b>前年度比</b>	<b>141.4</b>	<b>105.0</b>	<b>111.7</b>	<b>77.6</b>	<b>66.6</b>	<b>106.8</b>
30年度比較	123.2	114.8	114.8	52.9	61.5	100.7

【成果・課題】

- ・利用者の介護度が以前より上がり、予防訪問介護事業から訪問介護事業へ移行されたため、予防訪問介護事業の利用者が減少した。
- ・また、訪問介護事業は、利用者が入居されたこと等により減少しましたが、コロナ感染の影響でデイサービスの利用を控えられた利用者に対して訪問回数が増加した。
- ・コロナ感染の影響で一時休止のデイサービス事業所があり、代替えサービスとしてヘルパー自身の感染防止対策も徹底しながらご自宅での入浴支援を行った。

(3) 通所介護事業・・・デイサービスセンターで、入浴・余暇活動等を提供

※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■ 予防通所介護事業の実績（総合事業の利用状況実績）

延べ利用者数		述べ提供回数	
<b>2年度利用状況</b>	<b>128</b>	<b>2年度提供回数</b>	<b>771</b>
元年度利用状況	159	元年度提供回数	1,058
30年度利用状況	174	30年度提供回数	1,101
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>80.1%</b>	<b>前年度比較 (%)</b>	<b>72.9%</b>
30年度比較 (%)	73.6%	30年度比較 (%)	70.0%

■ 通所介護事業の実績（介護1～5の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
<b>2年度</b>	<b>82</b>	<b>176</b>	<b>117</b>	<b>38</b>	<b>55</b>	<b>468</b>
元年度	96	227	103	62	52	540
30年度	137	203	86	92	26	544
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>85.4%</b>	<b>77.5%</b>	<b>113.6%</b>	<b>61.3%</b>	<b>105.8%</b>	<b>86.7%</b>
30年度比較 (%)	59.9%	86.7%	136.0%	41.3%	211.5%	86.0%

延べ提供回数 (回)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
<b>2年度</b>	<b>574</b>	<b>1,279</b>	<b>1,073</b>	<b>266</b>	<b>814</b>	<b>4,006</b>
元年度	785	1,671	888	545	577	4,466
30年度	1,182	1,418	806	935	155	4,496
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>73.1%</b>	<b>76.5%</b>	<b>120.8%</b>	<b>48.8%</b>	<b>141.1%</b>	<b>89.7%</b>
30年度比較 (%)	48.6%	90.2%	133.1%	28.4%	525.2%	89.1%

**【成果・課題】**

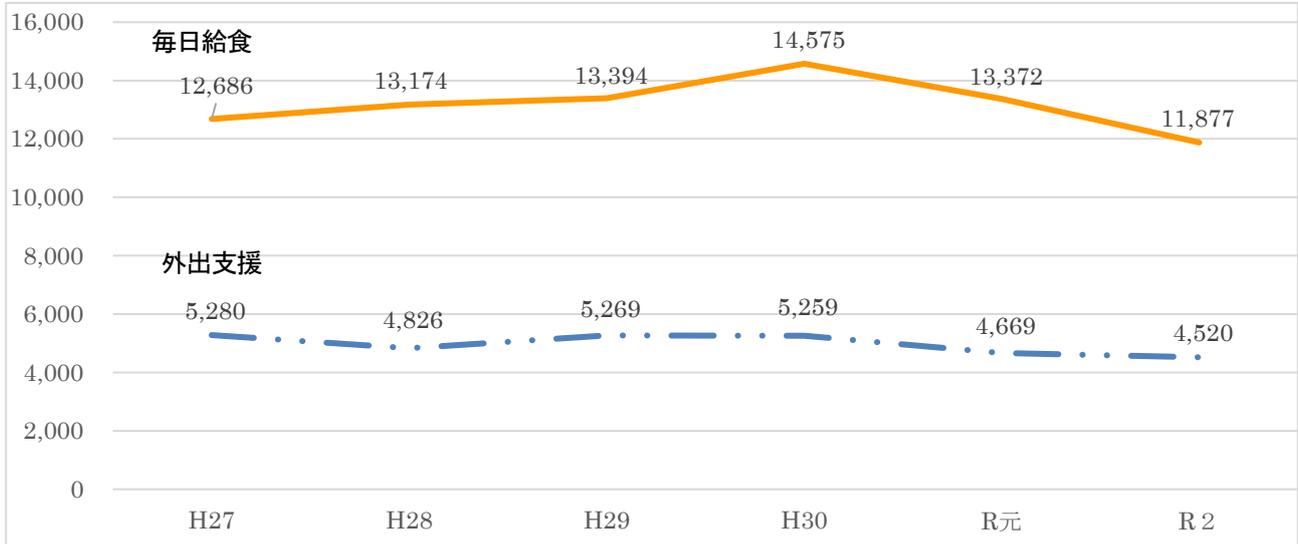
- ・新型コロナウイルス感染防止対策や、緊急事態宣言や感染拡大時の利用者の自粛、キッズボランティアやボランティアサークルなど地域との関わりが絶たれるなど、当事業所においても大きな変化の一年であった。そのような状況下で、情勢に合わせたサービスの提供、利用者や家族の協力も得ながら感染予防の取組みを継続したことにより閉鎖することなく本サービスの提供ができた。
- ・当事業の実績は上記のとおり漸減傾向にあるが、利用者の平均要介護度上昇が著明となっている(平成30年度2.44→令和2年度2.87)。重度化する中で職員の専門性を問われる中で、介護技術の向上を図っていきたいと考えている。また、今後も収束が見えないコロナ禍中でも創意工夫を凝らし質の高いサービスの提供に努める。

## 2 高齢者生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

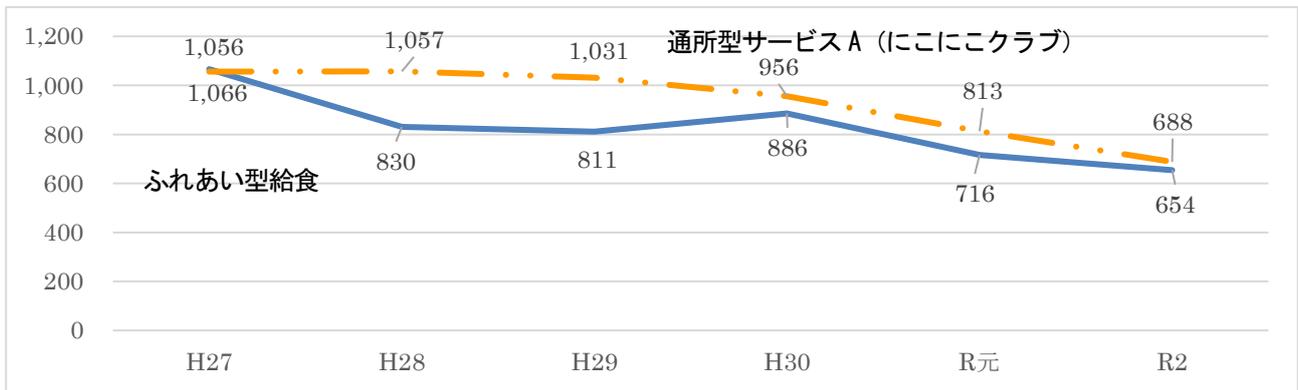
・毎日給食（延べ配食数合計、単位：食）

・外出支援（延べ提供回数合計、単位：回）



・にこにこクラブ（延べ提供回数合計、単位：回）

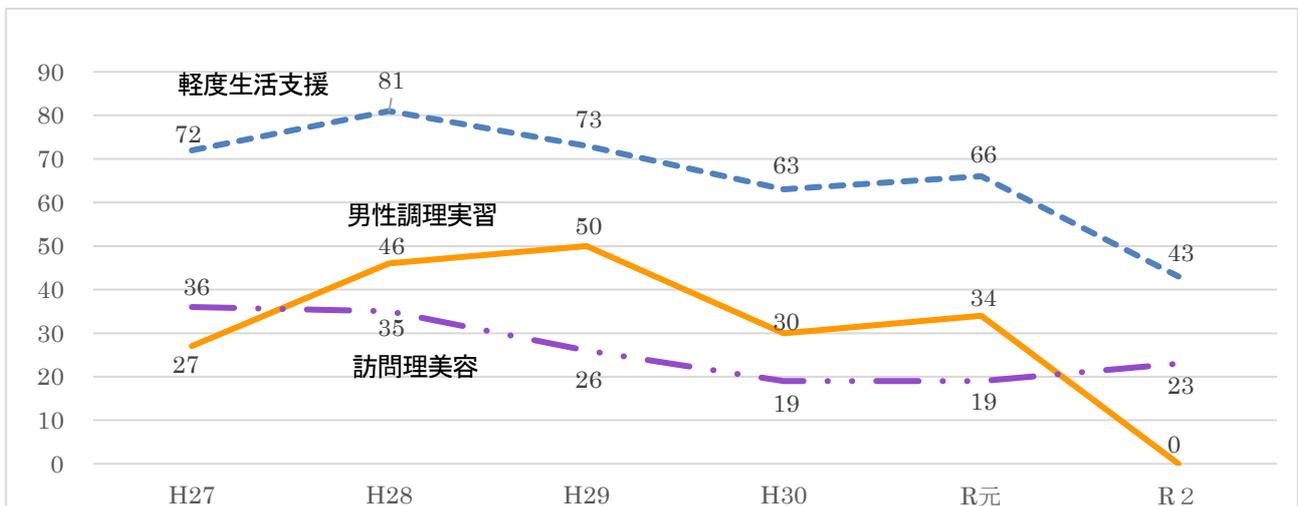
・ふれあい型給食（延べ配食数合計、単位：食）



・男性調理実習（延べ参加人数合計、単位：人）

・訪問理美容（延べ提供回数合計、単位：回）

・軽度生活支援（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 軽度生活支援事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者で、一人暮らし高齢者・高齢者世帯等、日常生活上の援助が必要な方
- 内 容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助
- 提供者：ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
<b>2年度</b>	<b>8</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>16</b>
元年度	12	14	0	26
30年度	12	12	0	24
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>66.6%</b>	<b>57.1%</b>	<b>—</b>	<b>61.5%</b>
30年度比較 (%)	66.6%	66.6%	—	66.6%
延べ提供回数 (回)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
<b>2年度</b>	<b>34</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>43</b>
元年度	50	16	0	66
30年度	50	13	0	63
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>68.0%</b>	<b>56.3%</b>	<b>—</b>	<b>65.2%</b>
30年度比較 (%)	68.0%	69.2%	—	68.3%

【成果・課題】

- ・毎月軽度生活支援で利用されていた方が、介護保険利用開始となり、現在はゴミ出しのみの活動になっている。
- ・今年度よりゴミ出し方法が変更になったことで活動も前年に比べると減っている。今後、軽度生活支援事業はかがやき活動や総合事業、住民主体の活動へと転換していくことが求められている。

(2) 外出支援事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者、または概ね60歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関の利用が困難な方
- 内 容：自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物等の送迎
- 提供者：運転介助員、ホームヘルパー

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
<b>2年度</b>	<b>1,339</b>	<b>4,520</b>
元年度	1,422	4,669
30年度	1,505	5,259
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>94.2%</b>	<b>96.8%</b>
30年度比較 (%)	89.0%	85.9%

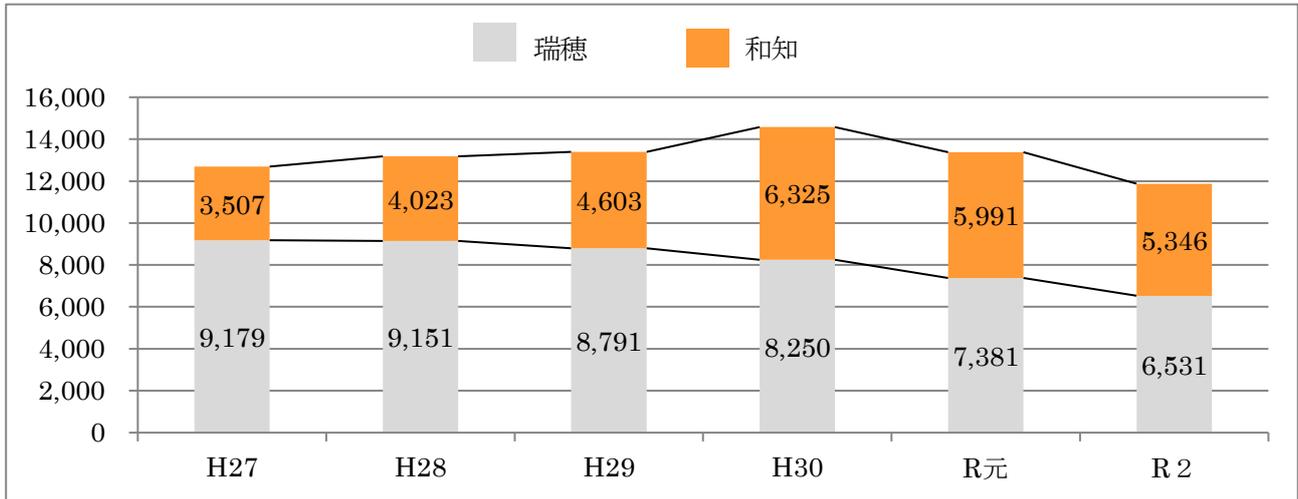
【成果・課題】

- ・丹波地区・瑞穂地区は新規利用者が増え、提供回数も増えている。逆に和知地区は利用者数が減っている状況にある。
- ・午前中の受診では時間が重なり、調整が必要である。また、曜日にもよるが運転手や車両が足りず、他の支所とも調整を行うことも必要となっている。
- ・亀岡の医療機関への送迎について他事業所と連携を取り、交互に協力して送迎が行えた。
- ・年度初めの緊急事態宣言時には通院自粛が特に目立ったが、初夏には元通りの利用水準に戻った。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、マスクの着用・消毒液の持参、常時の換気を行い安全で安心の送迎環境を整え実施した。また利用者への乗車前の手指消毒の実施に努めた。

(3) - 1 食の自立支援事業（毎日給食）

- 対象者：調理が困難な一人暮らし高齢者
- 地 区：瑞穂地区、和知地区のみ ※丹波地区は丹波高原荘が実施
- 内 容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配
- 利用料：1食 500円（ご飯、おかず）、450円（おかずのみ）

※地区ごとの利用者数の推移（単位：提供配食数）



延べ利用者数 (人)	瑞 穂	和 知	合 計
<b>2年度</b>	<b>411</b>	<b>327</b>	<b>738</b>
元年度	445	365	810
30年度	490	329	819
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>92.4%</b>	<b>89.6%</b>	<b>91.1%</b>
30年度比較 (%)	83.9%	99.4%	90.1%
延べ提供食数 (食)	瑞 穂	和 知	合 計
<b>2年度</b>	<b>6,531</b>	<b>5,346</b>	<b>11,877</b>
元年度	7,381	5,991	13,372
30年度	8,250	6,325	14,575
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>88.5%</b>	<b>89.2%</b>	<b>88.8%</b>
30年度比較 (%)	79.2%	84.5%	81.5%

【成果・課題】

- ・瑞穂・和知地区ともに利用者数が減っており、新規利用申請があっても入院や入所等ですぐに中止になるケースが多い。また配食数も前年度と比べ大幅に減少してきている。
- ・安否確認を兼ねて実施しており、配食時に不在の場合は電話で安否確認している。それでも連絡がつかない場合は緊急連絡先へ連絡し確認を行っている。

(3) - 2 食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

- 対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等（和知地区）
- 内 容：調理・配食ボランティアによる月2回実施の「かけはし弁当」
- 利用料：1食 400円

	配食数 (食)	調理ボラ数 (人)	配食ボラ数 (人)
<b>2年度</b>	<b>654</b>	<b>85</b>	<b>224</b>
元年度	716	99	298
30年度	886	111	337

前年度比較 (%)	91.3	85.8	75.1
30年度比較 (%)	73.8	76.5	66.4

**【成果・課題】**

- ・コロナによる中止の為、年間20回の予定が16回となった。
- ・利用者の入所や入院などにより一時食数が減ったが、CATVなどでの活動紹介を行った結果、多くの方に知って頂き徐々に食数も増えてきた。

**(3) - 3 介護予防普及啓発事業<男性調理実習>**

■対象者：町内在住の男性

■内 容：高齢者が主体的に参加でき自立支援につながるサービス提供を目的に、食生活改善推進員協議会「くるみの会」の協力を得て男性調理実習を実施する。

※令和2年度はコロナ禍のため開催中止

**(4) 訪問理美容事業**

■対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等

■内 容：社協に登録された理美容師が訪問し理美容を行う

■利用料：1回 1,000円

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
<b>2年度</b>	<b>6</b>	<b>12</b>	<b>5</b>	<b>23</b>
元年度	10	6	3	19
30年度	10	6	3	19
前年度比較 (%)	60.0%	200.0%	166.6%	121.1%
30年度比較 (%)	60.0%	200.0%	166.6%	121.1%

**【成果・課題】**

- ・新規利用者が増えている。
- ・上半期は新型コロナウイルス感染予防のためか訪問理美容を使用される方が少なかったが、下半期からは通常通りの利用者数に戻った。

**(5) 通所型サービスA事業 (にこにこクラブ)**

■対象者：総合事業対象者の高齢者。

■内 容：5班体制で、月2回、健康観察と体操を取り入れ、介護予防や健康維持を目的に実施

■指導者：支援スタッフ…5名、看護師…2名、合計7名

■会 場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

月	開催日	参加者数	月	開催日	参加者数
4月	コロナ感染予防のため中止		10月	6、8、15、20、22、29	84
5月	コロナ感染予防のため中止		11月	5、10、12、17、19、26	82
6月	16、18、25	41	12月	1、3、10、15、17、24	78
7月	7、9、16、21、28、30	82	1月	19、21、28	36
8月	18、20、27	34	2月	2、4、9、16、18、25	76
9月	1、3、10、15、17、24	81	3月	2、4、11、16、18、25	74
<b>合 計</b>					<b>668</b>
元年度実績					813
前年度比 (%)					82.1

**【成果・課題】**

- ・コロナ感染予防のため休止期間があった。休止中は電話にて利用者の健康状態や様子を聞き取りし、脳

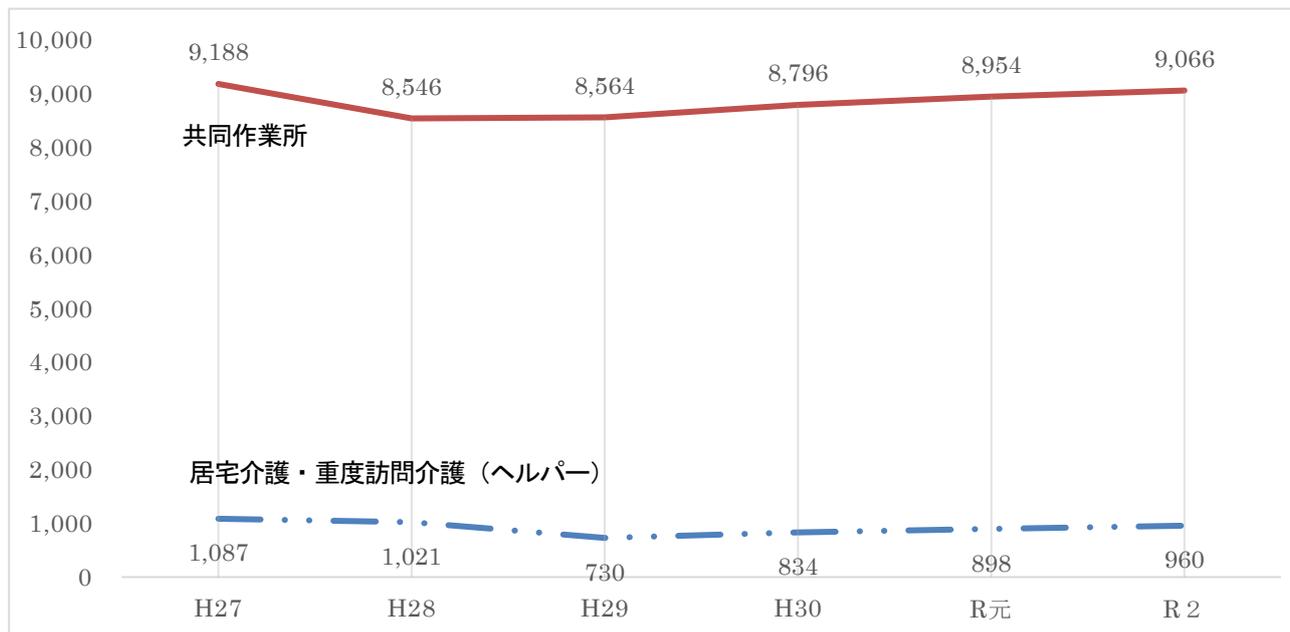
トレや口の体操などを郵送した。再開後は感染防止対策を講じて行っている。

- 長く通う利用者もあり介護予防として成果が現れている一方で、年齢も大きくなり介護予防の域を超え介助を要する方が増えてきた。取組みも以前とは違った内容に変更しており、次の段階の介護保険サービスへ進めることも必要ではないかと感じている。
- 介護保険サービスへの移行や入院等により利用者が減少している。新規利用者も少なかった。

## 【障害者福祉事業】

### 1 障害者総合支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数合計、単位：回）



#### (1) 居宅介護・重度訪問介護事業

##### ■ホームヘルパーによる在宅支援活動

延べ利用者数 (人)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
<b>2年度</b>	<b>10</b>	<b>24</b>	<b>43</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>89</b>
元年度	12	24	40	0	12	0	88
30年度	12	23	39	0	0	12	86
<b>前年度比較</b>	<b>83.3</b>	<b>100.0</b>	<b>107.5</b>	<b>■</b>	<b>100.0</b>	<b>■</b>	<b>101.1</b>
30年度比較	100.0	104.3	110.2	-	-	-	103.4
延べ提供回数 (回)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
<b>2年度</b>	<b>105</b>	<b>256</b>	<b>155</b>	<b>0</b>	<b>444</b>	<b>0</b>	<b>960</b>
元年度	137	189	134	0	438	0	898
30年度	137	181	137	0	0	379	834
<b>前年度比較</b>	<b>76.6</b>	<b>135.4</b>	<b>115.6</b>	<b>■</b>	<b>101.3</b>	<b>■</b>	<b>106.9</b>
30年度比較	76.6	141.4	113.1	-	-	-	115.1

#### 【成果・課題】

- ・利用者家族の高齢化または独居となられたため、訪問回数が増加した。

(2) 障害者共同作業所運営事業

障がいのある方の自立を目指し、生活能力向上の支援（生活介護）や就労訓練（就労継続支援B型）を行う。

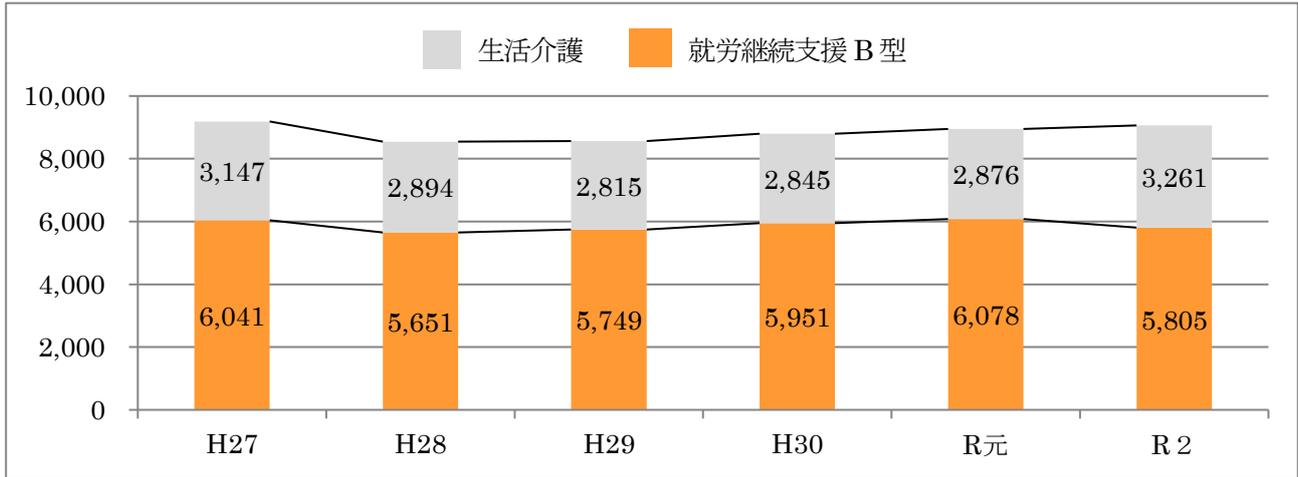
【生活介護】

創作的活動や生産的活動の機会を提供し身体的機能や生活能力向上のための援助を行う。

【就労継続支援B型】

一般就労に向けて必要な知識や能力の向上を目的に、生産活動やその他の活動を通して本人に合った訓練や支援を行う。

※利用実績の推移（単位：提供回数）



①利用実績

延べ利用者数（人）	生活介護	就労継続支援B型	合計
<b>2年度</b>	<b>3,261</b>	<b>5,805</b>	<b>9,066</b>
元年度	2,876	6,078	8,954
30年度	2,845	5,951	8,796
<b>前年度比較（%）</b>	<b>113.3</b>	<b>95.5</b>	<b>101.3</b>
30年度比較（%）	114.6	97.6	103.0

②販売会（自主製品の販売を通して啓発や工賃アップにつなげる）

販売会名	開催日	内容
上和知村おこし	11/8	自主製品の販売

③研修会

○作業所職員全体研修会・・・3回

職員全体会議	開催日	内容
第1回全体会議	4/1(水)	令和2年度事業計画、業務分担
第2回全体会議	9/25(金)	ケース検討会議
第3回全体会議	3/19(金)	虐待防止について研修

○外部研修

研修会名	開催日	場所
令和2年度市町村社協新任職員研修	8/31(月)9/25(金)	オンライン研修
令和2年度 京都府相談支援従事者初任者研修	10/9(金)16(金)10/27(金) 12/15(水)12/16(水)1/12(火)	w e b配信にて 京都テルサ

	2/24(水)2/25(木)	京都テルサ
「ほっとはあと製品」販売促進研修	12/10(木)	Zoom (園部総合庁舎)
福祉職場新規採用職員交流会	3/11(金)	南丹市国際交流会館

#### ④避難訓練 (各支所年1~2回実施)

第1回避難訓練 (火事を想定) 丹波 12/25(金) 瑞穂 12/25(金) 和知 12/28(月)

第2回避難訓練 (地震を想定) 丹波 3/31(水) 瑞穂 3/26(金) 和知 3/23(火)

#### ⑤実習生受け入れ

学校名	受入日	備考
丹波支援学校	8/17(月)	高等部3年生
福知山高校三和分校	11/25(水)11/26(木)	高校3年生1名

#### ⑥地域交流 (ボランティア)

団体名	開催日	内容
十三の会	3月~11月週1回 毎週1回	和知支所アルミ缶回収 ネギの調整
七八会	2週1回	和知支所ネギの調整

※個人ボランティア (毎週1~2回) 丹波本所、瑞穂支所

#### ⑦職場実習

就労を目指している方の職場実習

実習先	開催日	内容
アヤベニット	4/1(水)~4/28(火)	月火水 製品の箱折り、箱詰め
あかりガラス	10/12(月)~28(水)	月火水 ライトの検品作業
瑞穂農林	3/22(月)~3/26(金)	キノコの菌の植え替え

※実習からトライアル雇用につながったケース 2件

#### ⑧健康管理

- ・毎月1回健康観察、健康相談
- ・健康診断受診率はほぼ100%
- ・京都府歯科医師会の歯科検診、口腔内ケア指導希望者のみであるが受診者増加している。

#### 【成果・課題】

- ・新型コロナウイルス感染防止対策に努め発症者は出ていない。行事は自粛中ながらも工夫して実施し、できるだけ普段通りの生活が送れるよう配慮した。  
作業面では、夏季販売事業を中止した、冬期は感染対策を講じながら実施することが出来た。
- ・自粛期間があり、小学生との交流学習は行われなかった。また、イベントが中止され、販売の機会が無くなり、他に地域の方との触れ合いの機会も少なくなった。そのような中で何が出来るか探っていかなければならない。
- ・新たな生活介護の取組み(じゃんぷ)をスタートした。意思発出がしやすいように本人のやりたいことを基本として創作活動、音楽、野外での活動等過ごしやすい空間づくりを行った。参加利用者も楽しみにされ、安定して過ごされている。また、それ以外の時間も落ち着いて過ごされるようになった方もあり、さらに、利用者の特性に応じた取組みを広げていく。利用されている方の中には複数で過ごすことがストレスになる方がいるため、個室対応ができる場所の確保が必要。
- ・以前は支援学校の卒業生が働く場所としての利用希望であったが、近年の動向として中途障害の方や、

長年どこにも行かず自宅で過ごされていた方の利用が増えてきている。それらのニーズに応えられる事業展開の必要性に迫られている。

- ・コロナ禍ではあるが行政・地域の方々の協力を得ながら作業を確保・継続ができた。アルミ缶回収を始め地域の農家の方からの作業依頼、町内施設の整備、清掃作業を行っている。それに加え、薪割作業や町内園児に配布するマスクづくりなど町内の事業にかかわることで利用者の意欲にもつながった。



▲京都府歯科医師会の歯科検診



▲地域交流（和知支所 七八会）



▲就労支援作業

## 2 特定障害者指定相談支援事業（相談支援センターにじ）

■目的：障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、保健、医療、福祉、就労、教育等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、一人ひとりの意向、適正、特性等に応じ、適切かつ効果的な相談支援を行う。

■内容：ア 相談

- ・生活全般に関する相談や福祉サービス利用の意向、解決すべき課題の整理

イ 関係機関との連絡調整

- ・利用者が複数のサービスを利用する際、共通した支援目標を示すことで同じ方向に向けたサービスの提供を図る
- ・利用者に関わる機関の役割分担やネットワークの強化

ウ サービス利用計画の作成

- ・利用者のサービス利用計画を作成する上で生活に対する意向を確認し、総合的な支援の方針やサービスの目的の明確化を図る
- ・サービスの提供が本人の意向に沿ったものとなっているか、また、新たな目標や身体状態の変化、計画の達成、サービスの種類、内容、支給量を定期的に確認する

■実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約	1	0	1	0	3	0	0	1	2	0	0	3	11
計画相談	1	4	3	4	2	6	3	3	5	6	4	1	42
モニタリング	2	2	4	1	2	0	7	2	2	1	0	0	23

【成果・課題】

・関係者間での情報共有（連携）や利用者（ご家族）との良好な関係性の構築によって、適切な福祉サービス利用調整を提供。行政や関係機関からの計画依頼によって、少しずつ契約件数が増えてきている。地域資源が少ない中、満足いくサービス量の確保と調整に課題がある。

### 3 ひきこもり等居場所づくり支援事業（にじの家）…令和元年度新規事業

■目的：ひきこもり状態の方やその家族が気軽に利用できる居場所を開設し、当事者等からの相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図り、地域における自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■内容

(1) 居場所「にじの家」の開設・運営

当事者が自宅以外で過ごせる居場所として「にじの家」を開設する。当事者やその家族の社会的孤立を解消し、自宅以外で落ち着いて過ごせる空間としての「居場所」を運営する。また、必要に応じて専門機関と連携するなどの相談窓口機能も担う。

(2) 「当事者の会」と「家族の会」を分けることで、それぞれのニーズを汲み取る

ニーズに合わせた柔軟な活動内容提供により、利用しやすい環境にする。創作活動や家族交流会、中間的就労支援等、当事者の希望に応じながら柔軟に対応していく。

(3) 自宅訪問によるアプローチ

関係者や地域住民、当事者家族に、居場所「にじの家」の活動内容の周知、浸透の促進を図る。

■利用状況

※実施回数（参加人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当事者会			1 (3)	1 (2)	1 (3)	1 (3)	1 (3)	1 (3)	2 (5)	1 (3)	1 (4)	6 (8)
家族の会			1 (3)	1 (5)	1 (5)	1 (4)						

※4、5月は緊急事態宣言発令の為、事業中止

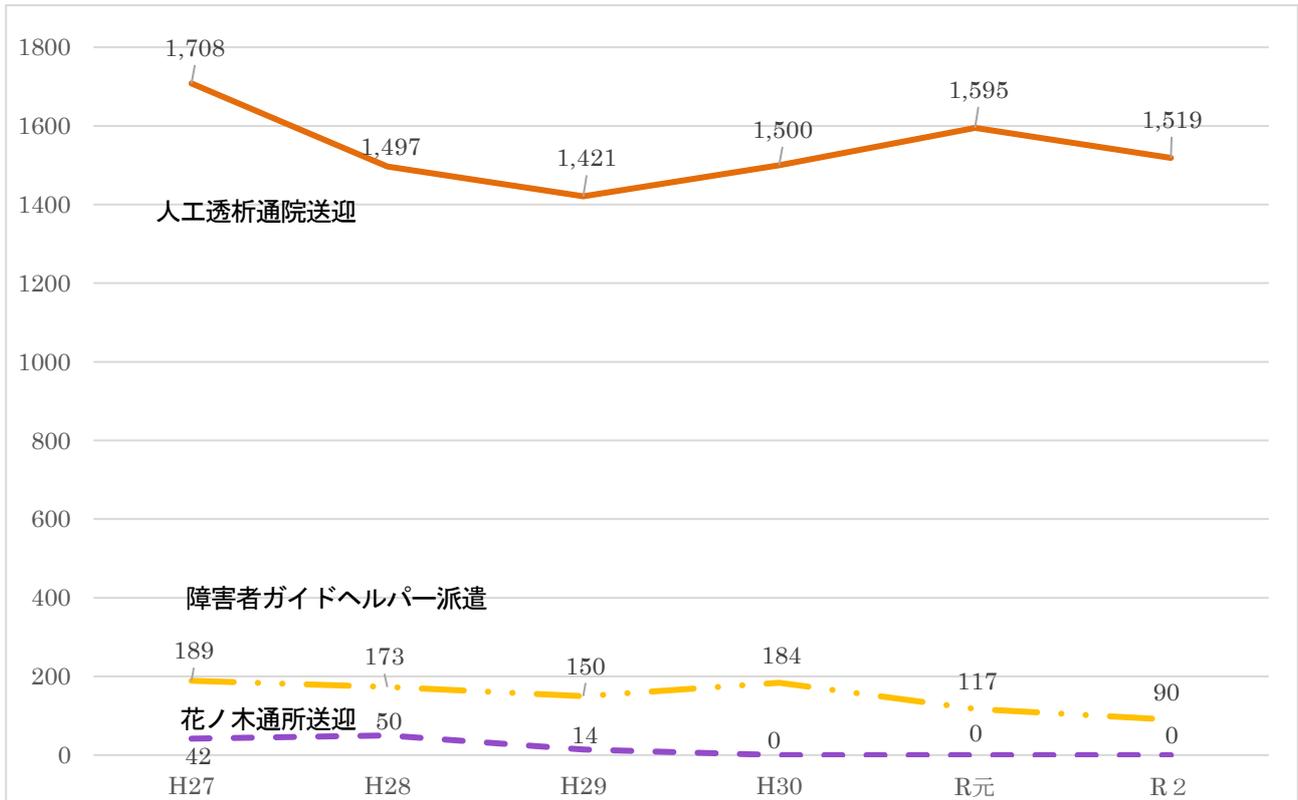
※コロナ禍により家族会も10月より事業中止

【方向性・課題】

・コロナ禍において、十分な感染防止対策をとっての居場所の運営を継続。家族会の開催は見合わせる事が多い中、当事者は毎月の利用を楽しみにされているのが伺えた。新規の利用者や、ボランティアで来てくださる方、近所の方との交流も増え、広報誌や関係者からの情報発信により、「にじの家」の周知が広がりつつあるのが感じられる。一方で、社会参加や就労を目指しておられる居場所利用者に対してのアプローチ方法や、アウトリーチ支援の進捗状況に課題があり、関係機関との連携もより一層求められている。

## 2 障害者等生活支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数、単位：回）



### (1) 重度心身障害児・者通院通所事業

#### ①人工透析通院送迎

- 対象者：人工透析患者
- 内容：人工透析のための通院送迎
- 提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	瑞穂発 (R9)	和知発 (R27)	合計
<b>2年度</b>	<b>139</b>	<b>63</b>	<b>202</b>
元年度	126	59	185
30年度	136	50	186
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>110.3%</b>	<b>106.8%</b>	<b>109.2%</b>
30年度比較 (%)	102.2%	126.0%	108.6%
延べ提供回数 (回)	瑞穂発 (R9)	和知発 (R27)	合計
<b>2年度</b>	<b>939</b>	<b>580</b>	<b>1,519</b>
元年度	929	666	1,595
30年度	900	600	1,500
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>101.1%</b>	<b>84.1%</b>	<b>95.2%</b>
30年度比較 (%)	104.3%	93.3%	101.3%

- ・綾部市立病院行きの利用が無くなり、京都中部総合医療センターのみとなった。
- ・瑞穂地区は月～土まで朝・昼・夜と3便体制で京都中部総合医療センターへの送迎を行っている。
- ・新型コロナウイルス感染防止ため、運転手・介助員ともにマスク・手指の消毒等の実施及び、利用者の乗車前の検温・手指の消毒実施などの対策を講じている。また、院内に入るときにはフェイスシールドも装着し介助を行った。
- ・透析利用の方は特に重症化リスクが高く、運転手・介助員ともに健康管理・感染防止に対して緊張感を

もった対応が続いている。

②花ノ木通所送迎

■対象者：重度心身障害者で療育通所利用者

■内 容：花ノ木地域療育施設通所送迎

■提供者：社協外出支援運転手

※今年度利用無し

(2) 障害者ガイドヘルパー派遣事業

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
<b>2年度</b>	<b>88</b>	<b>90</b>
元年度	45	117
30年度	71	184
前年度比較 (%)	195.5%	76.9%
30年度比較 (%)	123.9%	48.9%

## 【児童福祉事業】

### 1 ファミリー・サポート・センター事業

#### ① 各会員登録状況（3月末）

会 員 名	R 2年度末	新規登録者数	退会者数
依頼会員（おねがい会員）	62	6	10
提供会員（あずかり会員）	49	2	2
両方会員	20	0	0

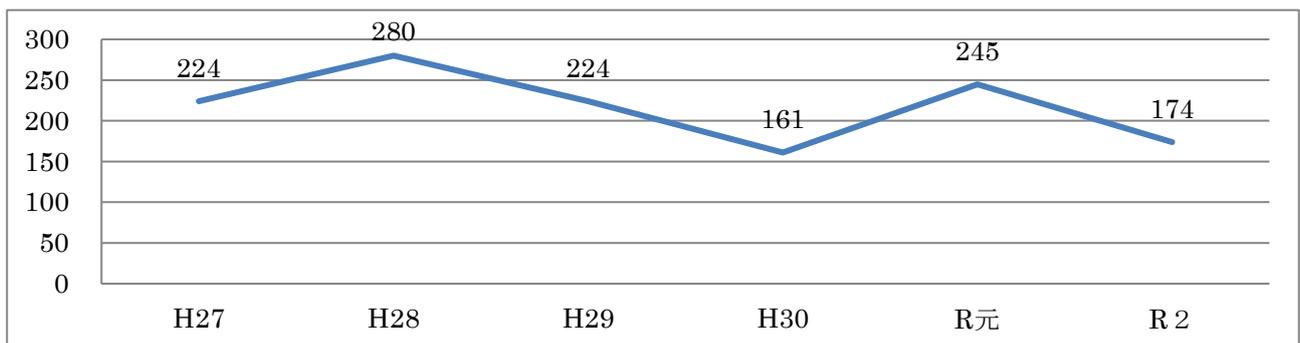
#### ② 研修会交流会の開催・・・あずかり会員養成研修会、会員交流会

項 目	日時・場所	内 容
あずかり会員養成 講習会	10月28日（水） 10月29日（木） 9：00～16：00	内容： 「子どもの安全と病気の世話」 講 師/保健福祉課 保田 智子 氏 「あずかり会員として活動するために」 説 明/京丹波町社会福祉協議会 谷山 啓子 「受講生交流」 「会員活動体験談」 報告/提供会員 「救急時対策と応急処置」 講 師/赤十字幼児安全指導員 村岡 和恵 氏 楠 和子 氏
	瑞穂保健福祉 センター	「子どもの食生活」 講師/保健福祉課 上林 小百合 氏 「子どもの権利（人権）について」 講 師/こども未来課 樹山敬子 氏 「京丹波町の現状と子育て支援について」 講 師/こども未来課 四方 妃佐子 氏 「子どもの社会性と遊びについて」 講 師/みずほ保育所 小室 由紀 氏 「子どもの発達状況に応じた関わり方」 講 師/こども未来課 長野 まい 氏

#### ③ 活動実績・・・調整状況

事 業 名	回 数	内 容
マッチング	12	習い事への送迎、保護者の用事時の預かり、保護者就労時の預かり、保育施設前後の送迎と預かり
活動実績	174	習い事への送迎、保護者の用事時の預かり、保護者就労時の預かり、学童の迎えと学童後の預かり
訪問・面談	9	会員宅訪問、相談対応

※活動実績の推移（延べ提供回数、単位：回）



### 【成果・課題】

- ・今年度は、和知地区での保育所送迎の依頼が多くあり、利用回数も多かったため、複数の提供会員とマッチングすることで提供会員に負担がかからないよう対応した。しかし、会員の高齢化や活動可能な会員が不足しているため、同じ会員が複数の依頼を掛け持ちすることとなった。
- ・相互援助活動については、会報誌で感染防止対策の方法を記載したり、援助活動の際には個別で感染防止対策を呼び掛けたりし、感染防止に努めながらサポートいただいた。
- ・あずかり会員講習会については、感染防止対策を講じて開催した。新規2名（提供会員2名）、再受講4名の計6名の受講となり、救命講習においては、再受講者を含む計10名の受講となった。

## 2 子どもの居場所づくり

○下山小学校区『みんなのひみつきち』

社会問題となっている子どもの貧困や働き方の多様化、また核家族化により子どもを取り巻く環境が大きく変容している現代において、地域の大人との関わりや、さまざまな体験を通して心の成長（人格形成）を促し、また相談できる関係づくりなどを目的に実施。

※令和2年度は、コロナ禍のため開催中止。

## 【地域福祉推進事業】

### 1 啓発活動の展開

#### (1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行

NO	発行月	内容等
51号	令和2年4月号	職員配置図、地域福祉活動計画特集、日赤活動資金ご協力のお願い、共同募金じぶんの町を良くする活動の報告、作業所 NEWS、寄付お礼
52号	令和2年6月号	令和2年度事業計画・予算、社協事業紹介、社協会費のお願い、災害ボランティアセンター、在宅福祉課よりお知らせ、ほっこりスペース「にじの家」、「家でもできる体操を」出演者インタビュー、作業所 NEWS、寄付お礼
53号	令和2年9月号	令和元年度事業報告・決算報告、新役員・新評議員紹介、寄付付き自販機設置、令和2年度赤い羽根共同募金運動、地域福祉課よりお知らせ、在宅福祉課よりお知らせ、ファミリー・サポート・センターよりお知らせ、作業所 NEWS、寄付お礼
54号	令和3年1月発行	社協会長新春メッセージ、年末お掃除応援隊、じぶんの町を良くする活動助成・年末買い物支援助成事業、京都府社会福祉大会、にじの家、喫茶ランチルーム、災害ボランティアセンター、相談事業のお知らせ、在宅福祉課よりお知らせ、作業所 NEWS、ファミリー・サポート・センターよりお知らせ、寄付お礼

#### 【成果・課題】

- 京丹波町社協の広報誌として、季刊（年に4回）で発行した。社協の取り組む事業の紹介や報告、事業の告知などを行った。

#### (2) facebook（フェイスブック）での情報発信

京丹波町社協の事業に関する情報や町内の地域福祉活動の取組み等について、迅速に情報提供することを目的に facebook（フェイスブック）による情報発信を行う。

- ① 投稿実績 78回

(3) 福祉まつりの開催

※令和2年度は、コロナ禍のため開催中止。

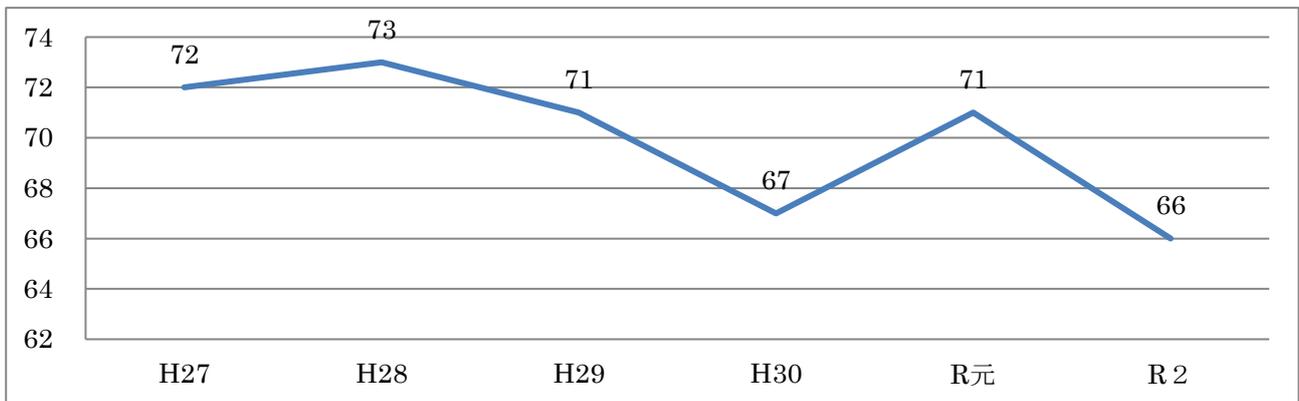
2 地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切に活動の展開

(1) ふれあいいいききサロン活動の展開

① ふれあいいいききサロン各地区の設置状況

丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
(令和2年度実績) 31サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	(令和2年度実績) 27サロン 広域サロン 1を含む	(令和2年度実績) 8サロン 広域サロン 1を含む	(令和2年度実績) 66サロン
(令和元年度実績) 33サロン 障害者サロン 1 広域サロン 1を含む	(令和元年度実績) 27サロン 広域サロン 1を含む	(令和元年度実績) 11サロン 広域サロン 1を含む	(令和元年度実績) 71サロン

※サロン設置数の推移



【成果・課題】

- ・サロン登録(補助金の申請や、保険の加入等)が、億劫になるとの声も聴き申請はしないが、活動はするという地区もある。
- ・コロナ禍で活動を休止されたが、見守り訪問や、手紙・脳トレプリントの配布等をされ、繋がりを大切にしながら新たな活動が広がった。
- ・町CATVと連携し「家でも出来る体操を」としてサロン活動者やボランティア活動者に出演いただき、コロナ禍で閉じこもり予防と運動不足解消に3種類の体操を放送した。住民の方からCATVに「大変良い」「何度も流して欲しい」などの電話があり好評であった。

(2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
定例会回数	1 0	7	1 2	2 9
訪問回数	5 3	3 0	5 6	1 3 9
延べ訪問活動者数	5 3	5 0	5 6	1 5 9
延べ活動者数	1 0 4	7 8	1 4 0	3 2 2
訪問対象件数	6	1 5	6	2 7
サークル員数	7	4	9	2 0

【成果・課題】

- ・コロナ禍で情勢をみながら電話での活動に切り替えたり、訪問時間を短くするなどして活動を行った。

(3) 京丹波町見守りネットワーク事業（絆ネット支援事業）・・・京丹波町委託事業

地域住民や事業者の方々が、日常生活や業務の中で異変や困りごとに気づいた時に、社協へ連絡していただくことで関係者が状況確認を行い、より多くの目で地域をさりげなく見守る活動を行う。

実施状況

■京丹波町見守りネットワーク事業協力事業所登録数

登録事業所	6 2 事業所 / 3 月末現在
通報件数	1 2 件

【成果・課題】

- ・今年度は新しく 2 事業所に登録していただいた。
- ・通報は、金融機関や郵便局、薬局などから 1 2 件あった。
- ・金融機関からは何度もキャッシュカードの暗証番号を忘れたり、紛失を繰り返されたりしている方の連絡を複数回して頂いた。行政とも連携を取ながらアプローチを続け、遠方に住む家族とも話をする事ができた。今後は家族とも連携しながら見守り活動を継続し必要に応じてサービスにつなげていく。
- ・薬局からはご利用者の薬の飲み残しが気になるが、どこに連絡したらいいのかと通報があった。ケアマネジャーを調べ、連絡をとり報告することで、薬局とケアマネジャーのつながりが出来た。また、薬局の方と話をしていく中で薬のことなど要望があれば地域で話をしていくので声をかけてもらったら嬉しいとも言っていた。
- ・今後も協力していただける事業所を少しずつでも増やしていき、見守り活動以外の地域活動にも協力してもらえる機会もつくっていきたい。

### 3 住民参加の地域福祉推進事業

#### (1) 社会福祉体験学習事業の実施

夏休みの期間を活用し、町内在住の中学生・高校生を対象に生徒の自主的な参加のもと、3日間福祉施設等での体験を通じて福祉について学びを深める。

※令和2年度は、コロナ禍のため開催中止。

#### (2) デイサービスキッズボランティア体験学習の実施

中高生の福祉体験学習を実施する中で、子どもたちの福祉離れを感じることもあり、小学生から福祉に触れ合うきっかけ作りの場として実施。

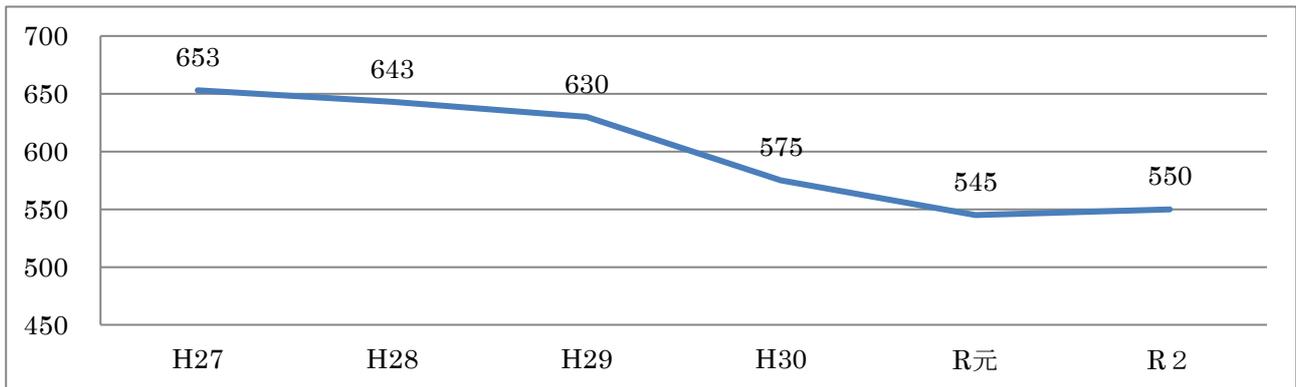
※令和2年度は、コロナ禍のため開催中止。

## 【ボランティア振興事業】

### 1 ボランティアバンク登録状況

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
丹波	男	9	2	5	0	11	10	37
	女	11	5	11	15	45	121	208
	計	<b>20</b>	<b>7</b>	<b>16</b>	<b>15</b>	<b>56</b>	<b>128</b>	<b>242</b>
	元年	17	6	9	16	70	124	242
穂	男	0	0	0	1	1	17	19
	女	1	1	2	8	41	97	150
	計	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>9</b>	<b>42</b>	<b>114</b>	<b>169</b>
	元年	4	1	4	8	54	81	152
和知	男	0	0	0	0	1	14	15
	女	0	0	0	8	29	87	102
	計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>30</b>	<b>101</b>	<b>139</b>
	元年	0	0	0	9	32	110	151
<b>合計</b>		<b>21</b>	<b>8</b>	<b>18</b>	<b>32</b>	<b>128</b>	<b>343</b>	<b>550</b>
元年度		21	7	13	33	156	315	545
比較 (%)		100.0	114.3	138.5	97.0	82.1	108.9	100.9

※ボランティアバンク登録者数の推移（単位：人）



## 2 ボランティア活動状況報告

### (1) ボランティアグループ活動報告

#### ①丹波地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」	34回	81名
2	朗読ボランティア「ともしび」	18回	108名
3	モンキーズ&ハッピーサークル	0回	0名
4	演芸ボランティア「民謡みやび会」	20回	120名
5	演芸ボランティア「瑞舟会」	20回	60名
6	演芸ボランティア「苑の会」	3回	15名
7	演芸ボランティア「すみれ会」	10回	50名
8	お誕生カードボランティア「すずらん」	2回	7名
9	絵手紙ボランティア	8回	38名
10	くらしの応援ボランティア「ひらめき会」	10回	20名

11	子育てボランティア「さくらんぼ」	0回	0名
12	保育ボランティア	7回	10名
13	美容ボランティア「愛（めぐみ）の会」	4回	28名
14	竹野ほほえみの会	4回	51名
15	蒲生ボランティアグループ	6回	29名
16	豊田あじさいの会	10回	75名
17	グリーンハイツすみれ会	28回	64名
18	グリーンハイツなごみ会	30回	150名
19	富田萩の会	11回	154名
20	傾聴ボランティア「うさぎの耳」	53回	104名
21	アロハフラピカケ	15回	248名
22	遊び広場もこもこ	11回	33名
23	和太鼓「えん」	26回	202名
24	和太鼓「結輪」	39回	118名
25	手話サークル「いちょう」	5回	32名
26	京丹場 SUN3 協会	19回	64名
<b>丹波支所活動計（イ）</b>		<b>383回</b>	<b>1861名</b>

②瑞穂地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	収集ボランティア「めぐみ」	4回	12名
2	要約筆記ボランティア「ささやき」	7回	14名
3	朗読ボランティア「あかり」	11回	38名
4	デイサービス介助ボランティア「あじさい」	9回	15名
5	暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」	10回	37名
6	暮らしの応援ボラ「ダイナミックス」	13回	58名
7	押し花ボランティア「花かご」	8回	36名
8	配食ボランティア	302回	498名
9	傾聴ボランティア「なかよし会」	37回	78名
10	京丹波スリーA	19回	71名
11	くるみの会	6回	45名
12	コーラスカナリア	20回	175名
13	手話サークル「ありんこ」	19回	71名
<b>瑞穂支所活動計（ロ）</b>		<b>465回</b>	<b>1148名</b>

③和知地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記サークル「くさぶえ」	25回	142名
2	朗読ボランティア「こだま会」	9回	45名
3	ガイドヘルパー「みちづれ」	68回	72名
4	十三の会	68回	126名
5	七八会	20回	38名
6	みんなで手をつなごう会	2回	24名
7	大迫グループ	4回	36名
8	虹の会	61回	133名

9	お誕生カードづくりボランティア「天花」	10回	51名
10	手芸ボランティア「モチーフ」	8回	40名
11	ふれあい給食サービス「調理ボランティア」	16回	85名
12	ふれあい給食サービス「配食ボランティア」	16回	224名
13	彩いろグループ	16回	176名
14	才原グループ「ふきのとう」	4回	8名
<b>和知支所活動計（ハ）</b>		<b>327回</b>	<b>1200名</b>
<b>総 合 計（イ+ロ+ハ）</b>		<b>1175回</b>	<b>4209名</b>

## （2）個人ボランティア活動報告

活 動 内 容	活動回数	活動者数
京丹波町身体障害者福祉会体育大会のボランティア支援	中止	0名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵原画書き	20回	1名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵名前書き	16回	3名
保育ボランティア	9回	11名
合 計	<b>45回</b>	<b>15名</b>

### 【成果・課題】

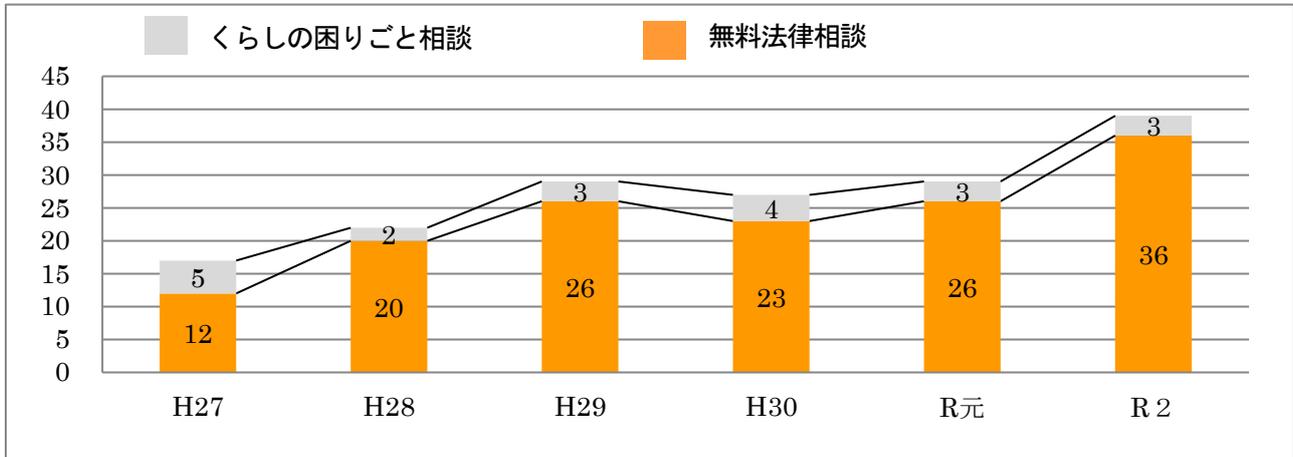
- ・今年度は新型コロナ感染防止の為、町施設が使用できなかつたり、活動の場である高齢者施設に訪問できなかつたり、活動が制限された1年であったが、町CATVを活用し活動の様子や魅力を発信することができた。
- ・新型コロナ感染防止の為、ボランティア研修、講座、交流会は開催することができなかった。

## 【厚生福祉事業】

### 1 心配ごと相談事業

※来談者の推移（「心配ごと相談」はH29より「くらしの困りごと相談」に名称変更。）

（単位：人）



くらしの困りごと相談	開催日	来談者	無料法律相談	開催日	来談者
和知	4月22日	0	瑞穂	4月6日	5
丹波	5月11日	0	丹波	5月11日	3
瑞穂	6月3日	0	和知	7月6日	5
和知	7月15日	1	瑞穂	8月3日	4
丹波	8月19日	0	丹波	10月5日	5
瑞穂	9月9日	0	和知	11月2日	3
丹波	10月5日	0	瑞穂	12月7日	4
和知	11月11日	0	丹波	2月1日	5
瑞穂	12月16日	0	和知	3月2日	2
和知	1月6日	0			
丹波	2月1日	0			
瑞穂	3月10日	2			
<b>合計</b>		<b>3件</b>	<b>合計</b>		<b>36件</b>
令和元年度実績合計		3件	令和元年度実績合計		26件

#### 【成果・課題】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら相談所を開設した。緊急事態宣言下においては、くらしの困りごと相談所に関しては職員が対応し、各委員には来所を控えていただいた。無料法律相談所に関しては、京都弁護士会より変わらず弁護士の派遣があった。
- ・くらしの困りごと相談の内容としては、騒音や落ち葉等の近隣トラブル、土地の問題であったが、関係機関につながることができた。
- ・無料法律相談では相続に関する相談が多く見られた。

## 2 福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者が属する世帯を対象に、その世帯の状況・必要性に応じて無利子または低利で資金を貸し付ける事業。

### (1) 新規貸付状況

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
生活福祉資金貸付	1	0	0	1
くらしの資金貸付	0	1	0	1
<b>特例貸付【緊急小口】</b>	39	12	3	<b>54</b>
<b>特例貸付【総合】</b>	22	8	1	<b>31</b>

※特例貸付の件数は受付数

※緊急小口について、1件が京都市へ、1件が東京へ転出され移管手続き中

※総合について、1件が東京へ転出され移管手続き中

※総合について、1件は京都市に住民票がある方（京丹波町の仕事場に居住されているため）

### 【成果・課題】

通常的生活福祉資金については、教育支援資金（大学への進学）の1件、くらしの資金については通院費用による生活費不足の1件であった。

今年度から生活福祉資金の新型コロナウイルス特例貸付が始まり、たくさんの貸付対応を行った。緊急小口資金・総合支援資金のどちらも生活費の不足による困窮に対しての貸付を行った。（事業資金や借金の返済などについては貸付対象としない）

## 3 総合相談事業

### (1) 相談受付内容

金銭関係	介護等相談	書類等手続き	その他	合計
28	2	2	11	43
(うち障害者) 9件	(うち障害者) 0件	(うち障害者) 0件	(うち障害者) 6件	(うち障害者) 15件

### (2) 相談対応結果

他機関紹介	多職種連携対応	社協事業対応	その他	合計
11件	15件	13件	4件	43件
京都弁護士会、弁護士、保健所就労相談、家庭支援総合センター、役場にぎわい創生課、住民課、町内電気店、フィリピン領事館（大阪）	各保健福祉室、保健福祉課、子ども未来課、保健師、包括支援センター、生保CW、保健所就労相談、障害相談員、民生委員、地域住民	福祉サービス利用援助事業、くらしの資金、無料法律相談、在宅福祉課、共同作業所、傾聴、家計相談、にじの家	転居・就労・生保の提案、白山市役所へ特別給付金の調整、コンビニで料金の支払い支援、傾聴のみ	

### 【成果・課題】

- ・相談支援係として、地域のさまざまな相談対応を行っている。相談の詳細は記載できないが、金銭関係の相談がもっとも多く入った。その他にも様々な相談が入った。多職種と連携して困りごとの対応をしたり、解決に相応しい相談先をご紹介したり、社協事業をご利用いただいたりする対応が多かった。
- ・今年度は、新型コロナウイルスの流行により生活福祉資金の特例貸付を行ったため、困窮の相談がそちらに集中したため、一般相談の件数は少なくなった。

## 【福祉関係組織活動支援】

### 1 日赤社員増強運動

項目	丹波	瑞穂	和知	合計
社資協力募金額	654,130円	521,224円	466,302円	1,641,656円

### 2 共同募金実績

(1) 赤い羽根共同募金運動 ⇒ 10月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項目	内容	合計	
募金額	令和2年度募金額	2,955,424円	
配分総額	令和元年度募金の配分金	2,311,348円	
前年度配分金	平成30年度募金の配分金(未交付分)	312,880円	
配分内訳	①啓発活動	広報ほほえみ発行	527,187円
	②高齢者福祉事業	町老連助成	90,000円
	③障害児・者福祉活動	町身体障害者福祉会助成等	130,000円
	④母子・父子福祉活動	町母子寡婦福祉会助成	130,000円
	⑤児童青少年福祉活動	町内小中学校福祉活動助成	210,000円
	⑥地域福祉活動	公募助成・かがやき活動・ボランティア活動支援	380,000円
	⑦防災・災害対策事業	災害時用備品の購入	100,000円
	⑧未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	1,057,041円

(2) 歳末たすけあい募金 ⇒ 12月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項目	内容	合計	
令和2年度募金額	戸別募金、法人募金、個人募金	1,658,040円	
配分総額	令和2年度募金の配分金	1,526,040円	
前年度配分金	令和元年度募金の配分金(未交付分)	304,076円	
配分内訳	①在宅援助活動	見舞・激励金の配布	788,000円
	②在宅サービス事業	年末お掃除隊、買物支援、介護用防水シート配布	656,988円
	③共同作業所支援	共同作業所交流会支援	100,000円
	④未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	285,128円

(3) 京丹波町共同募金運営委員会・・・1回

6/25(木)	事業報告及び事業計画について
---------	----------------

(4) 京丹波町共同募金委員会審査委員会・・・3回

6/22(木)	令和元年度事業報告及び令和2年度事業について じぶんの町を良くする活動助成について
8/31(月)	じぶんの町を良くする活動助成事業審査会・歳末たすけあい募金配分事業について
12/11(月)	歳末激励金事業について

### 【成果・課題】

・コロナ禍により、計画通りの事業実施が困難な中、今の状況を慎重にとらえながらも工夫をこらした内容で実施。公募助成では、花火やペットボトルのイルミネーションで地域を元気づける取り組みや、手作り弁当の配食サービス立ち上げなど、地域のつながりを大切にした活動が見られた。また、普段の暮らしに必要な買い物支援や年末お掃除応援隊などの事業も住民の皆さんのご協力により実施ができた。塞ぎがちな中、携わるそれぞれの方に前向きな気持ちを持つ効果もあり改めて地域づくりのための活動の重要性を再確認することができた。

### 3 京丹波町老人クラブ連合会

京丹波町老人クラブ連合会と丹波・瑞穂・和知それぞれの支部活動を支援するため、事務局機能を担っている。

## 【災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告】

### 1 支援活動

#### (1) 支援活動

##### 【京丹波町災害ボランティアセンターの設置・運営】

令和2年度は町内で大きな被害が無く、災害ボランティアセンターを設置することは無かった。

##### 【他市町村社協災害ボランティアセンター支援】

#### ①南丹ブロック社協との連携・共同

令和元年6月7日に南丹ブロック社協（亀岡市・南丹市・京丹波町）が締結した相互協定に基づき、今年度に初めて南丹ブロック合同での災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。

### 2 研修・講座

研修名	開催日	内容
令和2年度第1回南丹ブロック社協災害ボラセン合同訓練打ち合わせ会議	7/28	各社協の取組み・備品の整備 南丹ブロック社協合同訓練について
市町村災害ボランティア担当者会議	9/1	災害ボランティアセンターを取り巻く動き 新型コロナウイルス感染症に対するボランティア保険の補償について（オンライン会議）
令和2年度第2回南丹ブロック社協災害ボラセン合同訓練打ち合わせ会議	9/2	南丹ブロック社協合同訓練について
第1回京丹波町災害ボラセン運営検討会議	9/8	南丹ブロック社協合同訓練について、 全体職員研修について、町民講座について
令和2年度南丹ブロック社協災害ボラセン合同訓練	9/26	災害ボランティアセンターにおける新型コロナウイルス感染予防対策とそれを講じた立ち上げ訓練
第2回京丹波町災害ボラセン運営検討会議	9/28	南丹ブロック社協合同訓練の振り返り、 全体職員研修について、町民講座について
令和2年度第3回南丹ブロック社協災害ボラセン合同訓練打ち合わせ会議	10/27	南丹ブロック社協合同訓練の振り返り 次年度に向けて
亀岡災害ボランティアセンター設置・運用訓練	11/15	南丹ブロック社協協定のつながりにより、 亀岡市災害ボランティアセンターが実施する訓練に参加
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（局長・次長・担当職員対象）	2/1	噴霧器（消毒用）、ガス発電機、太陽光バッテリーの取り扱い習熟訓練を実施。

#### 【成果・課題】

町民講座や全職員対象の災害ボラセン立ち上げ訓練（職員研修）を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、実施できなかった。しかし、今年度は、南丹ブロック合同での災害ボラセン立ち上げ訓練を実施することができ、万が一災害が発生した際にも感染防止対策を講じた災害ボラセン運営ができるように訓練を行うことができた。